

2016年7月

## 国内で新型超重量物輸送特殊車両および大型クレーンを導入

山九株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：中村公大）は日本初となる最新鋭の超重量物輸送特殊車両「ユニットドーリ」、および大型クローラークレーンを導入、7月12日に見学会を実施いたしました。

超重量物輸送特殊車両「ユニットドーリ」はショエル社（ドイツ）製で、今回弊社が導入した最新モデルは最大積載量が60トン/1軸とこれまでの40トンに比べ大幅な能力向上を実現。また、一部タイプの車両は、縦方向に2分割できるスプリットタイプとなっており、積載する物のサイズや形状によっては、従来左右2台編成必要であった輸送作業を1台あるいは1.5台で行うことが可能になります。

大型クローラークレーンはリープヘル社（ドイツ）製で、800トン級の吊上げ能力を有する最新鋭の国内第1号機となります。800トン級としてはコンパクトな車体ながら、このクラスでは最長となるロングブームを有しており、特に100メートル以上の吊上げ高さや大きな作業半径を必要とする大規模プラント建設などの作業における活用を予定しております。

日本及び海外で建設ラッシュが進んでおり、人材不足と同様に大型クレーンなどの機材不足も問題となっています。そういった中で、山九グループは中期経営計画の重点取組の一つとして戦略機材の導入を進めており、今回の国内への戦略機材の導入により、コスト・作業効率の両面で、より効果的な提案が出来るようになりました。なお、昨年海外においても超大型クレーンなどを導入しております。

今後も山九グループはお客様に貢献できる体制構築を進めてまいります。

※各機材の詳細は次ページに記載しております。



## 新型機材詳細



### 大型クローラークレーン

メーカー：リープヘル社 型式：LR1750-HS800

(従来モデル 1750 の強化タイプで、安定性強化・作業半径拡大)

最大吊上げ荷重：公称性能 750 トン

(ブーム・ジブの構成によって異なる)

最高吊上げ高さ : 約 190m

旋回最少作業半径 : 7m (360 度旋回時間 1.5 分)

最高走行速度 : 1.65km/h

カウンターウエイト：最大 245 トン

ワゴン用ウエイト : 最大 400 トン(ワゴン旋回半径 13m-20m)



### 超重量物輸送特殊車両

「ユニットドーリ」

メーカー：ショエル社 (SCHEUERLE Fahrzeugfabrik GmbH : ドイツ)

※写真はスプリット (分割) タイプ

ユニットドーリは弊社が 1979 年に日本で初めて導入した超重量物輸送特殊車両です。現在、世界中の 3,000t 以上の重量物の 70%、5,000t 以上の重量物の 90% がショエル社のユニットドーリで輸送されています。弊社は 1954 年に戦後初となる日本からのプラント輸出を手がけ、それ以降重量物輸送のパイオニアとして、プラントのモジュール (設備) 輸送はもとより、道路や橋梁、各種発電施設など様々な重量物の輸送を手掛けています。

	一体型			分割型(スプリット)	
	6軸車	4軸車	3軸車	6軸車	4軸車
長さ	8,400mm	5,600mm	4,200mm	8,400mm	5,600mm
車両ピッチ	1,400mm				
幅	2,430mm			2,430mm/2	
フレーム高さ	1,500mm±350mm				
積載能力	333.8トン	222.1トン	166.5トン	332.1トン	221.2トン
タイヤ仕様	355/65-15PR24 / Continental IC40 / Filled				
タイヤ数	24	16	12	24	16
自重	26.2トン	17.9トン	13.5トン	27.9トン	18.8トン
保有台数	7台	6台	4台	2台	3台

今回導入した車両とこれまでの車両を組み合わせると、9,330 トン能力の編成も可能となりました。なお、東京タワーが約 4,000 トン、エッフェル塔が約 9,000 トンとなります。